



9月28日(日)午後9時よりNHKスペシャルにおいて「老後破産の現実」という番組が放映された。頼る人も、金もなく病気になっても医者にもかかれないという、厳しい現実を生きる人たち。しかし、それでも必死に生きなければならない人間の悲しさが心にしみた。

お金がないことで、人間関係まで孤立へと追い込んでしまう残酷さは、現代社会が抱えた大きな問題でもあろう。もうすでに何年も前から「独居老人」の問題がマスコミ等で取り上げられてはいるが、お金がないことから生じてくる人間関係の閉塞は、生きる意欲さえも奪ってしまうということなのだ。「早く死にたい」電気も止められた暗い部屋で、そうつぶやく老人の体からは力が抜けきっているようにも見えた。「将来への不安だけが心を覆い尽くしている」この現実には、実は私たち自身が今抱えている問題でもあるのだと、とても人ごとだとは思われなかった。

## 恵信尼の里を訪ねて

M M

九月十七・十八日の両日、金沢にある「鈴木大拙館」を拝観したあと、新潟県上越市にある、居多ヶ浜仏跡と 恵信の里記念館を訪ねました。

鈴木大拙は禅の紹介で世界的に有名な学者ですが、真宗も日本が生んだ、すぐれた宗教思想として、高く評価されており、晩年には「教行信証」の英訳を成し遂げられました。

水上に浮かぶ建物は、簡潔清楚なつくりで、禅の雰囲気に包まれていました。

親鸞聖人が上陸された居多ヶ浜周辺の仏跡も拝観させてもらいましたが、最初に住まれた竹ノ内草庵は五智国分寺の境内にありました。その後、恵信尼とともに住まれた竹の前草庵は、現在、本願寺別院になっていました。このほか、見真堂、記念堂など親鸞聖人ゆかりの仏跡が各所に残されていました。

恵信尼の里は、山沿いの板倉にありました。佐川急便社長の出身地で、多額の財政支援をうけて上越市が建設したものです。無料で入館でき、圧巻は親鸞聖人亡きあと、京都の末娘 覚信尼と交わした「恵信尼消息」が「ペーパー」ながら原本同様に展示されており大変見応えのあるものでした。恵信尼廟も整備されており、新潟特有のさわやかな空気のなかで、存分に味あわせてもらいました。

今月の学習会は十一月(土)です。毎月第二土曜日 七時より

若院法話 十分程度

学習内容 お文に学ぶ

座談会

お茶とお菓子をいただきながら、日ごろの思いを語り、話し合います。正直な思いを大切にしています。



若院、頑張っています。(参加者十一名)でした。



恵信尼消息



恵信尼廟

秋の永代経が勤まりました。

この日は晴天に恵まれ、例年通り多くのご参詣をいただきました。講師の方からは大きな声で、分かりやすくお話しいただき、皆さん頷きながらの聴聞でした。



来月からは「報恩講」の時期となります。

皆さんのご家庭では「お取越し」としてお勤めいただきます。

住職、若院ごちんちんも結構ですの、月命日の日でもお申し込みください。

光受寺 十一月十四日(日)

### 光受寺 御遠忌関連行事

9月30日(火)～10月1日(水)

奉仕団として上山してまいりました。(廊下の乾拭き作業をしました)

参加者は当初は14名でしたが、都合により2名欠席の12名となりました。中には他寺の門徒さんもぜひ参加したいとのことで、1名の方が光受寺の奉仕団に加わってご参加いただきました。

また4名の方が「お剃刀」を受けられました。誠にありがとうございます！！仏弟子としての名告りを上げられ、いよいよ念仏者としての生活が始まります。御同朋、御同行の心を持って、自らが聴聞に心がけ、心豊かな人生を送っていただけますようお願いしております。

お剃刀(お影堂にて)

堂内は撮影禁止ですので

遠くからご参詣...

すみません。



厳粛な雰囲気の中で



阿弥陀堂改修工事後の大屋根破風



琵琶湖疏水が注ぎ込む大寝殿南の池より「影堂を望む」



諸殿拝観途中。

チヨリ一服です。



参加者記念撮影

この一瞬に輝いて。



皆さん朝が早いです。

皆さんとてもお元気です。

さあ、掃除掃除。

眠たいわ〜。



教導・補導の先生による

講義風景。深いお話が聞けました。



積極的に質問も。



28歳と言う若さの補導さんによるお仏壇の講義。

とっても美人で、しっかりした先生でした。

解りやすく、心にしみるお話でした。